

一般社団法人埼玉県老人福祉施設協議会

令和7年度事業計画

＜事業方針＞

超少子高齢化の進行に伴う人材難、激甚化・頻発化する自然災害、さらには長期化する物価高騰など、介護施設・事業所を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。このような社会情勢下においても、私たちには必要な介護サービスを提供し続けていくことが求められています。

そのためには、人材不足の中でも職員の負担軽減を図るとともに介護サービスの質の向上へと繋げていくなどの介護現場の革新、防災や被災時の適切な対応など危機管理体制の強化、物価高騰下における健全経営の確保などに取り組んでいく必要があります。

また、事業所単独では対応が困難な課題が増えてきていることから、本会会員施設間の連携を更に強化しながら活動を推進していくことが重要であると考えます。

そこで、令和7年度においては、「介護サービスの質の向上」「危機管理体制の強化」「介護現場における生産性の向上」を主眼に置きつつ活動に取り組めます。

具体的には、各委員会・部会において、それぞれ以下の事業方針・事業計画を定め、事業・研修・調査等を実施してまいります。

さらに、物価高騰や感染症対策など社会情勢の変化に伴う諸課題について、関係各所との意見交換や要望活動などを積極的に展開してまいります。

1 会 議

(1) 総 会

令和7年5月21日（水）埼玉県県民健康センター

- ・ 令和6年度事業報告
- ・ 令和6年度貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）
並びに財産目録の承認について
- ・ 令和7年度事業計画並びに収支予算の承認について

(2) 監事会

令和7年4月23日（水）彩の国すこやかプラザ

- ・ 令和6年度事業及び会計監査

(3) 理事会

開催スケジュール

	開催予定月日	主 な 案 件
1	5月21日(水)	定期総会・施設長会議開催について

2	7月4日(金)	埼玉県施策・予算編成に対する要望について
3	10月17日(金)	次年度事業方針について
4	1月23日(金)	施設長会議について
5	3月23日(月)	決算見込み・収支予算について

※ 緊急の場合には、これ以外臨時に開催することがある。

※ 他の会議・イベントと重複した場合は日程を変更することがある。

※ 協議・報告事項の案件がない場合等に中止することがある。

(4) 正副会長会議

開催スケジュール

	開催予定月日	
1	5月21日(水)	① 原則として理事会開催日前に開催する。 ② 開催予定日に他の会議・イベントと重複した場合は開催日を変更することがある。 ③ 協議・報告事項の案件がない場合等に中止することがある。 ④ その他必要に応じて適宜開催
2	6月30日(月)	
3	10月14日(火)	
4	1月19日(月)	
5	3月16日(月)	

(5) 正副会長・委員長・部会長会議

※ 必要に応じて適宜開催

2 委員会・部会

(1) 総務委員会【老施協の運営、企画、立案、予算確保に関する事項】

<方針>

本会活動の円滑な推進に資するため、運営、企画、立案及び予算確保に関する事項について、時宜を得た調査研究を行うほか、会員に対して有益な情報を会報やホームページ等を活用して積極的に発信します。

また、会員施設・事業所を取り巻く様々な課題やニーズを把握し、必要に応じて要望等へ繋げてまいります。

- ・介護報酬改定後の報酬・加算の状況や人材に関すること、事業継続（収支状況）に関することなどについて、適宜、情報配信に努めます。
- ・圏域ごとに会員施設・事業所の意見を広く聞き、人材確保や物価高騰など喫緊の課題やニーズを丁寧に把握して、次年度に向けた要望事項を集約し、埼玉県等へ要望活動を行います。
- ・ホームページや会報などの更なる充実を図り会員への情報提供の強化に努めます。
- ・会員の一層の拡大を図り、本会の安定運営並びに組織力向上に努めてまいります。

<委員会>

	開催予定年月	主 な 案 件
1	令和7年5月	埼玉県施策・予算編成に対する要望について
2	令和7年6月	埼玉県施策・予算編成に対する要望について 施設長研修会、会報について
3	令和7年10月	R7施設長会議について
4	令和8年2月	次年度事業計画、R8施設長会議について

※ 開催月、内容は必要に応じて適宜変更する場合がある。

<事業>

○施設長会議（研修）

- ・第1回 令和7年5月21日（水）
- ・第2回 令和8年1月（予定）

○令和8年度埼玉県施策・予算編成に対する要望

- ・各圏域からの要望等とりまとめ
- ・県、県議会への提出、意見交換（令和7年7月～）

○施設長研修会

- ・令和7年7月頃開催予定

○会報「ろうしきょう」の発行

- ①VOL. 25（5/1 発行） ②VOL. 26（10/1 発行） ③VOL. 27（1/1 発行）

（2）地域福祉委員会【地域福祉推進に関する事項】

<方針>

介護現場において、今後益々必要とされる人材を確保するため、現在の社会活動を担う現役世代から今後の日本の将来を託されている若い世代まで、幅広く「福祉の心」を育む機会を提供し、介護の魅力を伝える活動を行います。

- ・高齢者福祉施設ふれあい体験事業の実施については、広報活動を十分に行い「地域交流」や「介護の仕事体験」を様々な世代に提供します。
- ・高齢者福祉施設ふれあい体験事業を更に普及するため、実施事例等を共有できるようアンケート調査を行います。
- ・埼玉県高齢者福祉研究大会及び埼玉県老人ホーム入園者創作品展を開催します。

<委員会>

	開催予定年月	主 な 案 件
1	令和7年5月	高齢者福祉施設ふれあい体験事業について (アンケート調査・チラシの作成)
2	令和7年7月	高齢者福祉施設ふれあい体験事業の実施状況及びアンケート調査の結果について
3	令和8年2月	高齢者福祉施設ふれあい体験事業振り返り 事業計画・予算案について

※ 開催月、内容は必要に応じて適宜変更する場合がある。

<委員会（埼玉県高齢者福祉研究大会企画・運営委員会）>

	開催予定年月	主 な 案 件
1	令和7年6月	開催要綱案・各種募集方法について
2	令和7年9月	運営体制について
3	令和7年10月	係員説明会について
4	令和8年1月	大会振り返りにについて 予算案について
5	令和8年3月	次回開催について

※ 開催月、内容は必要に応じて適宜変更する場合がある。

<事業>

- 高齢者福祉施設ふれあい体験事業の実施
- 地域交流や介護の仕事体験等に関する実施事例アンケート調査の実施
- 高齢者福祉研究大会の開催
 - ・開催日：令和7年12月10日（水） 開催場所：大宮ソニックシティ
- 埼玉県老人ホーム入園者創作作品展の開催（研究大会との同時開催）

（3）研修委員会【会員施設職員の資質向上のための研修会を実施】

<方針>

研修委員会は、超少子高齢化、人材難、自然災害の激甚化、物価高騰といった厳しい社会情勢の中でも、質の高い介護サービスを提供し続けるための人材育成と支援を目的としています。職員の負担軽減と介護サービスの質の向上、健全経営の確保を目指し、研修を通じて介護現場の革新を推進します。

（研修プログラムの企画）

- ・事務員、相談員、介護職、看護師、栄養士・調理員、介護支援専門員の6つのグループで研修会を企画・実施します。各グループが今後研修内容を決定し、職員が最

新の知識と技術を習得できるように研修プログラムを企画します。

(合同研修の実施)

- ・研修委員会と各部会の合同研修を実施し、複数の専門職が協力して学び合える場を提供します。これにより、異なる職種間の連携強化と総合的なケアの質の向上を目指します。

<委員会>

- 研修委員会 …適宜開催
- 各職種別研修委員会 …適宜開催

<事業>

○研修会

	研修名	実施予定年月	内容(予定)
1	事務員研修会①	令和7年6月 または8年7月	「育児・介護休業法の改正について」
2	生活相談員研修会	令和7年8月	業務の効率化、生産性向上、カスタマーハラスメントなど(未定)
3	介護職員研修会	令和7年9月	リスクマネジメント、チームワーク・人材育成など(未定)
4	看護職員研修会	令和8年1月	「最期まで目一杯生きる」
5	栄養士・調理員研修会	令和7年11月	「新調理方式について～厨房の人員不足に対するアプローチを考える」
6	事務員研修会②	令和7年12月 または8年1月	「問題行動のある職員への対応」
7	介護支援専門員研修会	令和7年10月	「施設ケアマネの存在意義を思い出そう」
8	研修委員会・部会合同研修会	令和8年1月	「身体拘束・虐待予防」

※ 開催月、内容は必要に応じて適宜変更する場合がある。

- (4) 部会【デイサービス、地域包括・在宅介護・居宅介護支援、養護・軽費老人ホーム・ケアハウス、ユニットケアの事業運営に関する調査研究、研修】

<方針>

令和4年度から、あらためて活動の中心を本来の「調査」とした部会・分科会におい

ては、「現況調査の結果（状況）を明確化すること、そしてその中から課題を抽出すること」に重きをおいてまいりました。

部会・分科会ごとに課題を抽出する方法や抽出した課題を会員と一緒に考える方法にこそ違いはありますが、「研修会の実施」「関係機関等を交えた必要な情報提供の提言」「今まで以上に横の連携を強固にする座談会」を開催することにより、会員のみなさまが求めている情報に更に根拠を示した情報の提供や、交流の場を作り上げていく取り組みを続けてまいります。

今年度は新たに今までの現況調査の課題抽出に加え、これらの調査結果をアウトプットで終わらせず、アウトカムに結び付けられるよう取り組みをすすめるとともに、引き続き研修委員会との協調を進め、より良い研修を提供できるよう、質の向上に努めます。

- ・部会毎に高齢者福祉・介護サービスのあり方、介護保険制度の動向などの課題等について協議し、施設・事業所共通課題に関する調査研究や研修を実施します。

<部会会議>

- 部会担当理事会議 …適宜開催
- 部会種別委員打合せ会議 …適宜開催

<事業>

○課題の抽出及び調査・研究等の実施

- ・部会、分科会において課題等を抽出し、課題に応じて調査・研究、提言、座談会、研修、先進的な関係機関との意見交換等を実施

○研修委員会との合同研修

- ・研修委員会と協力して、幅広いニーズに応える研修を合同で企画、実施

○調査・研修

	部会名	実施予定年月	内容（予定）
1	デイサービス部会	7年9月（調査） 8年2月（研修）	運営・経営状況等について調査の実施および研修の開催
2	地域包括・在宅介護支援・居宅介護支援部会	各分科会による	D Xの推進等について
3	養護・軽費・ケアハウス部会	各分科会による	調査の実施および研修・座談会・施設見学等の開催
4	ユニットケア研究部会	7年9月（調査） 12月頃（研修）	ユニット型施設向け調査の実施および研修の開催

※ 開催月、内容は必要に応じて適宜変更する場合がある。

(5) 21世紀委員会【次世代を担う若手役職員が、諸課題や介護現場の将来像を
模索・検討し行動するために各種事業を行う】

<方 針>

次世代を担う若手リーダーが現場で抱える諸課題を共有し、それらを解決する道筋を示せるように活動します。

- ・21世紀委員会では高齢者福祉の未来のために、次世代を担うK A I G O義塾で若手職員同士の仲間づくりと管理者の育成、更に地域との共存・共営を意識した健全経営に繋がる魅力ある研修を企画いたします。
- ・全国老施協のJS次世代委員会との連携協力のほか、県社協の福祉業界就活オープニングセミナーへの協力など関係機関と連携して福祉の魅力を発信してまいります。

<事 業>

○K A I G O義塾 2回開催

○生産性向上に向けた課題研究（先進事業所の視察、A Iの活用等）

○その他通年事業

- ・全国老施協 JS 次世代委員会との連携、協力
- ・福祉業界就活オープニングセミナーinさいたまへの協力
- ・埼玉県介護職員しっかり応援プロジェクトへの協力

<委員会>

	開催予定年月	主 な 案 件
1	令和7年5月	令和7年度事業について ・KAIGO 義塾について ・生産性向上に向けた課題研究 ほか
2	令和7年7月	KAIGO 義塾、生産性向上に向けた課題研究の計画具体化 ほか
3	令和7年9月	KAIGO 義塾開催要綱、生産性向上に向けた課題研究 ほか
4	令和7年10月	KAIGO 義塾開催
5	令和7年11月	KAIGO 義塾の振り返り、第2回 KAIGO 義塾について 生産性向上に向けた課題研究 ほか
6	令和7年12月	第2回 KAIGO 義塾開催要綱、生産性向上に向けた 課題研究まとめ ほか
7	令和8年2月	第2回 KAIGO 義塾開催 令和8年度の活動方針・計画について

※ 開催月、内容は必要に応じて適宜変更する場合がある。

(6) 危機管理対策検討委員会【本会の防災対策・感染症対策等の充実強化とその円滑な推進を図るために各種事業を行う】

<方 針>

危機管理に関するマニュアルを見直し、組織の役割分担を明確にし、有事の際は迅速

に連携が取れるよう災害時連絡体制、相互応援体制の確立を図ります。また、関係機関との連携による災害対策の体制を構築していきます。

- ・災害に対し組織的な対応が図れるよう災害発生時の連絡体制―支援体制ガイドの見直しを行い本部、エリア、圏域、会員施設の役割分担・責任を明確にする。
- ・安否確認を主眼とした訓練を定期的の実施し、訓練をととしてエリア間・圏域間の連携を強化し、有事の際は迅速に応援協力体制が取れる体制を構築していく。
- ・災害発生時、関係機関と情報の共有並びに連携を図る仕組みづくりに取り組む。
- ・組織内連絡手段をより強固なものにしていくため、会員施設の意見を調査し、さらなる通信遮断音信不通時の代替手段を検討し、実用性の高い情報通信技術（ソフト・アプリ等）の研究を進める。
- ・感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を整備するため業務継続計画の運用並びに見直しに関する研修を行う。

<委員会>

	開催予定年月	主 な 案 件
1	令和7年6月	訓練・研修の具体化・各マニュアル整備、関係機関との連携について
2	令和7年12月	稼働訓練の反省、エリア訓練の具体化、来年度の事業方針・事業内容、BCP研修の振り返り 来年度の研修案、関係機関との連携について
3	令和8年2月	エリア訓練の反省、訓練の具体化、マニュアル等の見直し

※ 開催月、内容は必要に応じて適宜変更する場合がある。

<事業>

○災害用アプリを用いた一斉情報共有システム稼働訓練

・年3回：6月24日（火）、9月11日（木）、3月11日（水）

○エリア防災訓練（年1回1月～2月 エリアごとに訓練計画・実施）

○BCP活用及び更新研修（年1回6月～9月）

3 全国大会開催日程

（1）第4回 全国老人福祉施設大会・研究会議 ～JS フェスティバル in 山口～

令和7年12月4日（木）～12月5日（金）

山口県山口市（大津プリンスホテルコンベンションホール「淡海」他）

（2）全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会

令和7年10月28日（火）～10月29日（水）

宮崎県宮崎市（宮崎観光ホテル）

4 関東ブロック大会等開催日程

- (1) 第60回関東ブロック老人福祉施設研究総会（東京大会）
令和7年6月12日（木）～13日（金）
- (2) 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会代表者会議（年3～4回）

5 関係機関・団体との連携等

- (1) 全国老人福祉施設協議会及び全国地域包括・在宅介護支援センター協議会、関東ブロック老人福祉施設連絡協議会との連携
- (2) 埼玉県及び県社協種別組織（経営者協議会及び施設連絡会等）との連携
- (3) 社会福祉士会、介護福祉士会、介護支援専門員協会、栄養士会等専門職団体との連携
- (4) 民間事業者連絡会、養成校との連携
- (5) その他団体との諸調整・取り組み等 随時

6 災害対応にかかる県との連携

災害発生時には、埼玉県と締結した「災害時における老人福祉施設の応援、協力等に関する基本協定」及び「埼玉県災害派遣福祉チームの派遣に関する基本協定」に基づき、県の関係部課と密に連携を図りながら対応していく。

一般社団法人埼玉県老人福祉施設協議会 令和7年度予算
(白) 令和7年4月1日(至) 令和8年3月31日(2025年4月1日～2025年3月31日)
(A) (B) (A)-(B)

科 目	令和7年度予算	令和6年度予算	前年差	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入				
特定資産受取利息	2,000	1,000	1,000	災害対策の積立資産運用利息
②会費収入				
会費収入	34,100,000	32,600,000	1,500,000	埼玉県老協の会費(賛助会員会費含む)
③事業収入				
創作品展委託金収入	766,000	566,000	200,000	埼玉県からの老人ホーム入園者創作品展委託費
広告料等収入	800,000	300,000	500,000	研究大会企業広告
参加費収入	3,150,000	3,150,000	0	研修・施設長会議・KAIGO塾塾等参加費
④補助金収入				
県補助金収入	230,000	230,000	0	
関プロ助成金収入	179,000	179,000	0	
全国支援センター組織活動助成金収益	288,000	288,000	0	
⑤負担金収入				
県社協負担金収入	100,000	100,000	0	高齢者福祉研究大会負担金
施設負担金収入	3,950,000	3,900,000	50,000	高齢者福祉研究大会施設負担金
⑥寄付金収入				
寄付金収入	100,000	100,000	0	
⑦雑収入				
受取利息配当金収入	1,000	1,000	0	預金利息
雑収入	1,000	1,000	0	圏域活動費返戻金等 全国老協協会促進奨励金
事業活動収入合計	43,667,000	41,416,000	2,251,000	
2. 事業活動支出				
①事業費支出				
創作品展費支出	1,870,000	1,870,000	0	埼玉県老人ホーム入園者創作品展の開催に要する経費
研究大会事業費支出	3,000,000	2,870,000	130,000	埼玉県高齢者福祉研究大会の開催に要する経費
ふれあい体験事業推進費支出	0	100,000	-100,000	高齢者施設でのふれあい体験事業に要する経費
災害対策費	1,000,000	500,000	500,000	災害見舞金、災害対策アプリ等
会議費支出	1,200,000	1,100,000	100,000	総会、理事会、正副会長会議、正副会長・委員長・部会長会議
研修会費支出	2,600,000	2,000,000	600,000	研修委員会、部会、総務委員会、21世紀委員会担当の研修会に要する経費
委員会・部会費支出	1,800,000	1,400,000	400,000	各委員会・部会・プロジェクトの開催に要する経費
調査研究費	900,000	400,000	500,000	委員会・部会・プロジェクトによる調査研究に要する経費
地区活動費支出	2,100,000	2,100,000	0	圏域活動助成金
広報支出	1,900,000	1,900,000	0	会報発行、ホームページ変更・管理
渉外費支出	50,000	50,000	0	関東ブロック研究大会への研究発表の派遣に要する経費
雑費	10,000	10,000	0	その他事業費支出に要する経費
事業費支出計	16,430,000	14,300,000	2,130,000	
②管理費支出				
給料手当支出	18,700,000	18,200,000	500,000	事務職員の給与に要する経費
福利厚生費支出	40,000	40,000	0	事務職員の健診に要する経費
法定福利費支出	2,900,000	2,700,000	200,000	事務職員の社会保険・健康保険・労働保険料
慶弔費支出	250,000	250,000	0	慶弔見舞
旅費交通費支出	35,000	35,000	0	職員移動交通費
通信運搬費支出	800,000	800,000	0	電話・郵便料、宅配便、モバイル機器使用料他
消耗品費支出	400,000	400,000	0	事務用品
修繕費支出	10,000	10,000	0	自転車修理等
印刷製本費支出	500,000	700,000	-200,000	要覧作成・封筒作成
リース料支出	550,000	550,000	0	レンタカー・コピー機リース・ウイルス対策ソフト
光熱水費	260,000	210,000	50,000	事務所の水道光熱費
賃借料支出	250,000	225,000	25,000	倉庫の賃借料・更新料
事務委託費支出	2,000,000	2,300,000	-300,000	社協一斉配信委託、税理士・司法書士委託、動画配信サービス
租税公課支出	180,000	130,000	50,000	消費税・法人税
事務諸費支出	270,000	270,000	0	打合せ費、銀行手数料
図書教育費	47,000	47,000	0	新聞代、参考図書
雑支出	10,000	10,000	0	上記科目に属さない管理費に係る経費
管理費支出計	27,202,000	26,877,000	325,000	
事業活動支出合計	43,632,000	41,177,000	2,455,000	
事業活動収支差額	35,000	239,000	-204,000	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
災害対策基金積立金取崩収入	500,000	500,000	0	災害対策の積立資産の取崩し
投資活動収入合計	500,000	500,000	0	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	330,000	330,000	0	共助会
災害対策基金積立金	2,000	1,000	1,000	災害対策の資産積立て(預金利息)
投資活動支出計	332,000	331,000	1,000	
投資活動収支差額	168,000	169,000	-1,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入合計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出合計				
財務活動収支差額				
IV 予備費支出				
当期収支差額	200,000	200,000	0	
前期繰越収支差額	3,000	208,000	-205,000	
前期繰越収支差額	69,091,686	64,386,281	4,705,405	
次期繰越収支差額	69,094,686	64,594,281	4,500,405	

【参考】主な事業の予算内訳

第17回埼玉県高齢者福祉研究大会予算

【収入の部】				(単位:円)
勘定科目		令和7年度予算	前年度予算	摘要
大区分	中区分			
1負担金収入		2,746,000	2,696,000	
	1施設負担金収入	2,646,000	2,596,000	
	2県社協負担金収入	100,000	100,000	
2助成金収入		74,000	74,000	
	関プロ助成金収入	74,000	74,000	
3その他収入		180,000	100,000	
	広告料等収入	180,000	100,000	介護用品展ブース等
合 計		3,000,000	2,870,000	

【支出の部】				
勘定科目		令和7年度予算	前年度予算	摘要
大区分	中区分			
1会議費		30,000	30,000	
	1会議費	30,000	30,000	会議室使用料等
2事務費		160,000	130,000	
	2通信運搬費	160,000	130,000	郵送料
3事業費		2,810,000	2,710,000	
	1諸謝金	300,000	300,000	講師謝金
	2消耗品費	150,000	150,000	記念品等
	3印刷製本費	900,000	900,000	チラシ・ポスター等
	4会議費	110,000	110,000	係員弁当代等
	5業務委託費	510,000	510,000	会場設営
	6賃借料	600,000	500,000	会場使用料
	8交通費	200,000	200,000	委員交通費
	7雑費	40,000	40,000	手話通訳
	8租税公課			印紙
合 計		3,000,000	2,870,000	

令和7年度 埼玉県老人ホーム入園者創作作品展予算

【収入の部】				(単位:円)
勘定科目		令和7年度予算	前年度予算	摘要
大区分	中区分			
1委託料収入		566,000	566,000	
	1委託料収入	566,000	566,000	県委託金
2負担金収入		1,304,000	1,304,000	
	1施設負担金収入	1,304,000	1,304,000	
3その他収入		500,000	0	
	広告料等収入	500,000	0	
合 計		2,370,000	1,870,000	

【支出の部】				
勘定科目		令和7年度予算	前年度予算	摘要
大区分	中区分			
1事務費		60,000	60,000	
	1通信運搬費	60,000	60,000	郵送料
2事業費		2,310,000	1,810,000	
	1消耗品費	500,000	500,000	事務用品・記念品等
	2印刷製本費	300,000	300,000	チラシ・ポスター等
	3業務委託費	1,300,000	800,000	特設Webサイト、会場設営
	4賃借料	200,000	200,000	会場使用料
	5交通費			係員交通費
	6雑費	10,000	10,000	ボランティア保険
	7租税公課			印紙
合	計	2,370,000	1,870,000	